㈱トキは出版、企画、編集、デザイン、制作に加え、

ドローンに関する幅広い事業を展開。ドローン事業で

は、撮影や測量、販売などを行っているほか、「悩み

相談しや講習会など愛好者や操縦者の拡大につながる

代表取締役の相馬菜穂さん(54)は狛江生まれで

地元の小・中学校を経て都立高等学校を卒業後、銀行、

企画会社、イベント会社などに勤務した後、フリーラ

ンスのコピーライター兼編集者として活動した。父の

玉野登喜男さん(故人)が昭和55年に設立した㈱ト

キに入社、経済誌などメディアに掲載する国内外の企

業や自治体などの記事広告、パンフレットやチラシな

どの印刷物、WEBデザインなど広告関連を中心に手

初心者向けのコンテンツに力を注いでいる。

### 生きづらさ抱える女性の交流の場

人づきあいが苦手だったり、ひきこもりがちなど、 生きづらさを抱える20歳以上の女性たちが交流す る「お喋り会」が、毎月第3土曜日午後2時~4時 に和泉多摩川地区センターで開かれている。

「いろは女子会」(岡安さ とみ代表)が「生きづらさり を抱える女性の交流会」事 業として運営しているも ので、参加自由のお喋り会 のほか、公園の散歩などの 外出を行う「おそとの会」、参加者が作ったウェ



映画鑑賞や料理を作る「楽 ルカムボード

しむ会|も2カ月に1回程度行っており、参加者は 令和4年6月から延べ約200人を数える。参加者の 悩みや環境、立場、年齢は様々だが、同じ悩みを持 つ人や、身近な人に話せない内容を話せるため、リ ピーターも多い。7月の料理会では「一人だと食事 も味気ないけど、誰かと一緒だとうれしい」という 声も上がるなど好評だ。

市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受け て開催する。開催日程はX(旧Twitter)や、ひき こもり当事者会の活動紹介サイト「ひきプラ」から 確認できる。「楽しむ会」「おそとの会」は予約が必要。

問い合わせMiroha\_joshikai@yahoo.co.jpいろ は女子会。

「ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会」 (飯田吉明会長) がヘルマンさんの業績と生涯を紹 介した2種の紙芝居を製作、5日用~8日目の午前 10時~午後5時に泉の森会館で原画展を催す。また、

狛江フェスティバル 会場の泉龍寺で7日 田は「ヘルマンさん のおはなし」、8日 □は「ヘルマンさん とソーセージ|の紙 🍱 芝居を上演する。時



問い合わせ☎3489-0222飯田さん。

### ヘルマンさんの紙芝居原画展と上演

間はいずれも午後4時15分から。

同会は平成25年に発足。第一次世界大戦でドイ ツ人捕虜として来日、日本の食肉加工技術の向上に 貢献、狛江で食肉加工工場を営み、泉龍寺に墓があ るヘルマンさんの業績を調べる活動を行ってきた。 ヘルマンさんについて市民に知ってもらおうと紙芝 居の製作を企画、幼児から小学校低学年向けの「へ ルマンさんとソーセージ」を調布市在住で元・狛江 第五小学校校長の石谷清隆さん、小学校高学年から 大人向けの「ヘルマンさんのおはなし」を八王子市 在住の田中尚子さんが描いた。同会では、狛江市市 民公益活動事業チャレンジ補助金で紙芝居を印刷す るとともに、原画展の開催と上演を行う。参加無料。

# ✓ 句会ライブに子どもら60人を招待

狛江市文化講演推進会(中野潔会長)が、10月30日 駅午後6 時30分からエコルマホールで催される文化講演会「夏井いつき 句会ライブin狛江」(狛江市主催)に市内在住の小・中学生とそ

の保護者、市内在住・在学の高校生合わせて60 人を招待する。

同会は、文化講演会を通して狛江らしい文化を 育み、魅力ある文化を発信するまちを目指して、 街づくりや国際交流などに関わる人たちが、令和 4年に設立。市民手作りの講演会を毎年開くこと を目途として、昨年4月に棋士の羽生善治さんを 招いて第1回の文化講演会を催した。

狛江市名誉市民で昨年8月に亡くなった絵手紙創始者小池邦夫 さんの出身地である松山市が同年に催したイベントを狛江市が共催 した。今年は狛江市の主催、松山市の共催で、松山市の初代俳都松 山大使の俳人夏井いつきさんを招いて句会ライブを開くことになっ た。狛江市文化講演推進会では、趣旨に賛同する市内の企業・団体 の支援を受けて、席の一部を買い取り、子どもたちを招待 する。招待希望は9月5日困~16日月で受け付ける。詳 細は二次元コードから。応募多数の場合は抽選。

問い合わせ2090-1438-4895 E メールMinfo@komaeculture. com狛江市文化講演推進会事務局 水田さん。

# 外国人が盆踊りやそうめん 国際交流で日本の夏味わう

狛江市国際交流協会が8月4日 回に「日本の夏を知ろう&浴衣で

盆踊り体験| を催し、外 国人や会員 など約60人 が盆踊りな どで市民と の交流や日 本の夏を楽 しんだ。

参加した外国人は中央公民館で 浴衣を着付けてもらった後、「狛 江音頭|「東京音頭」などの盆踊り を練習、市役所前市民ひろばで開 催されたいずみ会の盆踊りの輪に 入って、なごやかに踊りを楽しん でいた。参加者は中央公民館で用

意されたそうめんを味わいなが ら、日本独特の夏の風情を味わっ ていた。

## 工作や実験などが人気 子ども・中高生スペース

で中央公民館で開かれ、期間中は 多くの子どもと保護者が訪れた。

毎月1日・狛江市発行

慶岸寺

世田谷通り

...38

夏休みに学びと体験をと、同館が 平成30年度から実施している。期 間中は子どもを対象に子ども食堂な どが昼食を提供、整理券が連円15 分ほどでなくなるほどだった。

万華鏡とうちわ、ボードゲーム 体験、化学実験などのイベントが あり、いずれも応募多数で抽選に なるほど人気を集めた。小学生対 象の「もえるって何だろう? 線 香花火をつくろう」は講師の科学 読み物研究会会員の坂口美佳子さ んが鉄や銅などの金属を燃やす実

DRONEHOLICcafe がけ、平成25年に父の死去にともない代表 取締役に就任した。

ドローン事業は、夫で取締役の相馬仁さ ん(61)が担当。日本唯一のプロディスコ ダンサー「JIN」として活躍する仁さんは、

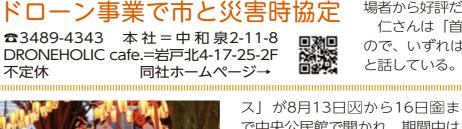
ダンススタジオとソウルバーを経営し、テレビやラジ オへの出演、イベントや企画の運営など積極的に活動 し、狛江でも多くの人に知られている。

仁さんがドローンと出合ったのは4年前。コロナ禍 で仕事が減るなか、そのおもしろさと可能性に目覚め た。自動車販売会社の支店長を勤めた経験と、車やオー トバイが趣味でメカに強いこともあり、マルチコプ ターからヘリコプター、固定翼など機種ごとに異なる 操作技術を習得。JUIDA無人航空機安全運航管理者、 同認定スクール講師、アマチュア無線技士などの免許 も取得し、ドローン関連の仕事を増やしてきた。現在、 約300機の機体を保有し、それぞれの操作方法や上 達のコツなどを指導できるよう努めているという。

日本ではドローンの規制が厳しく、機体購入後は 様々な手続きが必要で、そうした煩雑な手続きについ てアドバイスを求められることが増えたため、愛好者 の交流スペース [DRONEHOLIĆ čáfe.] をオープン。 希望に合ったドローンの選定から販売、カスタマイズ、 メンテナンス、操縦体験会や飛行会なども開いている。

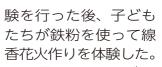
また、同社は、狛江市と災害時等における無人航空 機を活用した協力体制に関する協定を令和4年に締 結。今年6月の総合水防訓練では、ドローンで上空か ら撮影した訓練風景を大型スクリーンに投影して、来 場者から好評だった。

仁さんは「首都圏では自由に飛ばせる場所が少ない ので、いずれは狛江をドローンの聖地にしたいですし と話している。



で(左から)相馬仁

幅広い広告制作を手がけ 44 年



15日凩にはペットボトルで作った 水鉄砲とひしゃくを使って市役所 前市民ひろばで打ち水を行った。





不定休

「夏休み子ども・中高生スペー